

※本資料は、令和8年8月4日の現地視察時点の状況を整理したものです。

現地で確認される状況

② 旧生コンクリート関連施設



施設は閉鎖されており、外観確認を実施

- ・建設資材や修繕対応を島外に依存しやすい
- ・輸送コストや工期の増加につながる
- ・公共施設や生活基盤の維持管理に影響

④ 集落内の空き家状況



空き家は存在するが、直ちに活用できるとは限らない

- ・老朽化、相続、所有者調整、改修費用等が課題
- ・住宅不足が人材確保の制約となる
- ・空き家の活用には継続的な支援が必要

③ 黒島診療所



小規模離島の暮らしを支える重要な生活基盤

- ・日常診療に加え、急病時や搬送面での安心を支える
- ・医療人材の確保には住居・交通等の条件整備も必要
- ・人口規模だけでは維持の困難な基盤機能

これらは個別の問題ではなく、
小規模離島に共通する
構造的課題

- ・物流・資材確保の脆弱性
必要な資材や機能を島外に依存している



- ・住宅確保の困難
職員、専門職、移住者等の受入れに支障が生じやすい



- ・人材確保の困難
医療、保育、教育、福祉等の担い手確保が難しい



- ・維持管理コストの高さ
台風、塩害、輸送費等により負担が大きい



- ・生活基盤の維持が
採算性だけでは成り立ちにくい
人口規模が小さくても、必要な機能を維持する必要がある

今後必要と考えられる支援

① 住宅確保への支援



- ・空き家改修支援
- ・職員住宅、専門職住宅等の整備支援
- ・住宅流通や所有者調整に対する支援

② 医療・生活基盤への支援



- ・診療所等の基盤機能の維持確保
- ・医療、福祉等の専門人材の確保支援
- ・緊急搬送や交通面を含めた生活環境整備

③ 物流・インフラ維持への支援



- ・離島における資材確保、物流維持への支援
- ・公共施設、住宅、生活インフラの維持管理支援
- ・緊急時対応力の強化

④ 制度的・財政的支援



- ・小規模離島の実情に応じた柔軟な制度設計
- ・採算性だけでは測れない基盤機能への支援
- ・県・国による継続的かつ総合的な支援

黒島の課題は、個別施設の問題ではなく、住宅・医療・物流・人材確保が相互に関係する小規模離島全体の構造的課題である。
そのため、島で暮らし続けるための基盤を維持するには、総合的かつ継続的な支援が必要である。